

## 活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

## つばさ

神奈川県青少年指導員だより

第62号  
-2020年3月-

発行 神奈川県青少年指導員  
連絡協議会  
発行者 市丸 克己  
連絡先 045-210-1111(代)  
神奈川県青少年課内  
印刷 文明堂印刷(株)横浜営業所

## 第52回 青少年指導員大会 報告

## 青少年と地域、未来を共に！

## 第52回神奈川県青少年指導員大会を開催しました

令和元年11月9日(土)、神奈川県立青少年センター紅葉坂ホールにおいて、県内各地から500人を越える参加者を迎えて、第52回神奈川県青少年指導員大会が盛大に開催されました。

横浜市青少年指導員連絡協議会で実行委員会を立ち上げ、横浜らしさを随所にみせた大会は、大盛況のまま幕を閉じることができました。関係者の皆様に心から感謝いたします。

来年は、横須賀三浦地域の横須賀芸術劇場ヨコスカ・ベイサイド・ポケットにて11月21日(土)開催予定です。実行委員会を中心に現在準備を進めていますので、お楽しみに。

## ◆オープニング

横浜DeNAベイスターズチアスクールに通うdiana kidsのチアダンスからスタート！子どもたちが一生懸命踊る姿はかわいらしく、元気いっぱい大会を盛り上げました！



## ◆表彰式

今年度は60名の指導員が表彰されました。受賞者の皆さま、長年の活動本当にお疲れ様です。



## ◆講演 『青少年の「挑戦」を支える地域～「はあと de ボランティア」の想い～』

青少年指導員とも協働している林田様の講演は、青少年と今後接していくにあたり大変参考になりました。



## ◆活動事例発表

横浜市鶴見区、保土ヶ谷区が発表をしてくださいました。ありがとうございました！



鶴見区



保土ヶ谷区



## 『令和最初の青少年指導員大会を終えて』 実行委員長 柳澤 直人

第52回神奈川県青少年指導員大会が神奈川県立青少年センターで行われました。

大会の一年以上前から各区の会長による実行委員会を立ち上げ、特に総務部会委員の会長とは多くの会議を重ねました。

横浜らしさを出せるようにと、オープニングには横浜DeNAベイスターズチアスクールの子どものチアダンスを行っていただきました。

事例発表は市内18区の持ち回りでやっているため、今回は鶴見区と保土ヶ谷区の活動発表、講演は『青少年の「挑戦」を支える地域～「はあと de ボランティア」の想い～』をテーマに、青少年を支える地域の人たちの活動について、都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）館長の林田育美さんをお願いしました。

当日は県内各地より多くの青少年指導員に参加していただきありがとうございました。

最後に県・市事務局と市青少年指導員の実行委員に感謝を申し上げます。

## 県青少年指導員表彰受賞者一覧（令和元年度）

青少年の健全育成にご尽力いただき、ありがとうございます  
感謝状を贈られた青少年指導員のみなさま

## ■横浜地域

大塚 祥司 鶴見区  
神谷 禮子 神奈川区  
川藤 麻子 神奈川区  
中村 恵一 西区  
山口 和昭 中区  
後藤 茂 南区  
吉川 昌代 南区  
甲斐 輝美 港南区  
鳥塚 久男 保土ヶ谷区  
大関 悦夫 保土ヶ谷区  
廣野 賢一 保土ヶ谷区  
佐藤 秀夫 旭区  
川村 仁子 磯子区  
飯塚 久典 金沢区  
杉原 真由美 港北区  
中野 隆 緑区  
松浦 正義 緑区

松尾 恵理 緑区  
志村 さつき 青葉区  
吉野 一代 青葉区  
佐藤 広光 都筑区  
皆川 孝 戸塚区  
金山 保 戸塚区  
見上 秀雄 栄区  
熊谷 強 泉区  
大場 つね代 瀬谷区

## ■川崎地域

堆 史和 川崎区  
久保 和夫 幸区  
山口 卓 中原区  
足立 良雄 高津区  
川腰 賢司 宮前区  
鴨志田 浩克 多摩区  
志村 政幸 麻生区

## ■相模原地域

本郷 永子 中央区  
太田 ゆかり 中央区  
矢部 弘之 緑区

## ■横須賀三浦地域

蓮池 昇 横須賀市  
杉山 政男 横須賀市  
石塚 郷彦 鎌倉市  
鈴木 勝巳 三浦市  
水留 純子 葉山町

## ■県央地域

三橋 正巳 厚木市  
福本 隆史 大和市  
橋本 正彦 大和市  
齋藤 哲 綾瀬市

## ■湘南地域

北山 昌男 平塚市  
原田 智 平塚市  
鷹野 三枝子 藤沢市  
五十嵐 直美 藤沢市  
前田 康順 秦野市  
亀井 道行 伊勢原市  
柏木 加代子 伊勢原市  
飯田 祐一 寒川町

## ■県西地域

アダムス 澄子 小田原市  
諸星 光浩 大井町  
高橋 純子 山北町  
金子 弘恭 箱根町

(敬称略/掲載にご了承いただいた方のお名前)

## 青少年指導員の活躍にクローズアップ 第3回

## ★座間市民まつり『ふるさとまつり』～子どもたちとのふれあい～

座間市青少年指導員連絡協議会 会長 萩原 正恵

令和元年11月17日(日)、例年行われる座間市民まつり「ふるさとまつり」に参加するため、市役所横のふれあい広場に設営されたテント前に、青ジャンパーを着た青少年指導員が集合しました。晴天に恵まれたは良いものの、この寒空の中、「何か温かい物を食べたい…」そんな遠い夢はかき捨てないなりません。美味しそうな食べ物等が販売されているメイン会場とは異なり、このふれあい広場は、未就学児向けの遊び場として設営された会場なのです。

そんな中で始まったふるさとまつりでは、青ジャン



つれるかな？

パー集団一同、一致団結し、釣りやバルーンアート、スマートボールを実施。沢山の子どもたちの笑顔に触れることができました。釣りに興じる小さな釣り師たちと見守る親御さんの姿や、スマートボールでの行列。バルーンアートもなかなかの人気の、青ジャンパー職人たちが作ったバルーンアートを並べていると、子どもたちからの「これ、欲しい！」と求む声が…。自分の作った作品が目目されると、つついど笑顔になってしまう青ジャンパー職人。15時に無事閉店。今年のふるさとまつりも大盛況のうちに終わりました。



人気のスマートボール

## 【社会環境実態調査にご協力いただき厚く御礼申し上げます】

令和元年度実施社会環境実態調査の結果について県ホームページに掲載しました。  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12577.html>





### 第3回 事務局が行く

## 雨が降ってもわくわくウォーク「第35回あさおわくわくウォーク(川崎市麻生区)」

11月24日(日)に川崎市麻生区役所にて、川崎市麻生区青少年指導員会のイベントである「第35回あさおわくわくウォーク」が開催されました。

#### 事前の準備が功を奏した雨天の盛り上がり

イベントは、区役所を出発し、古文書のような手書きの地図を頼りに、区内のこども文化センターをはじめとするチェックポイントで、ゲームやクイズを行うウォークラリーです。

当日は、残念なことにも雨模様でしたが、麻生区役所の複数のフロアを使い、ラダーゲッターをはじめとする親



大人も楽しめた難解クイズ!

子で楽しめるゲームや、麻生区役所のホールをつかった大人も楽しめる〇×クイズで、大いに盛り上がりました。

雨天開催とはいえ、あまりにも準備が良すぎる展開。実は、雨天の開催については、春先から青少年指導員の間で一つテーマとして、議論を重ねられていたとのことでした。

雨天中止でがっかりする子どもたちの顔を見たくないという、青少年指導員のあたたかな気持ちが、雨天開催を成功に導いたように思えました。

#### 優勝は仲良し親子のグループ

優勝者には、35年の歴史を感じる重みのある優勝旗が授与されました。優勝したお子さんに聞いてみると、一番おもしろかったゲームは新聞紙投げ。来年も参加したいと好評でした。

晴れても雨でもわくわくウォーク。大人も子どもも楽しめる素敵なイベントでした。



来年もぜひ参加してね!

指導員の紹介・取材希望の場合は県青少年課 (TEL 045-210-3848) までお問合せください

### かんたん工作③

## おもしろヨーヨーの作り方

#### 〈材料〉

- ・プラスチックボール ... 1個
- ・クリアファイルを細く切ったもの ... 4~8本
- ・輪ゴム ... 3~4本
- ・つまようじ ... 1本
- ・ビニールテープ
- ・両面テープ
- ・目玉を印刷した紙

#### 〈下準備〉

少し短かくセカったつまようじに輪ゴムを数本つけたものを



- ① ゴムをつけたつまようじをボールの穴に押し込む。
- ② ボールのまん中にグルッと一周両面テープを見りつける。
- ③ 両面テープの所にクリアファイル(最高8本)を貼りつける。
- ④ クリアファイルの上から、両面テープと重なる様に、ビニールテープを一周巻きつける。
- ⑤ 目をテープで貼りつけて完成!!

クリアファイルはまっすぐつけるだけでなく、両端を両面テープにつけて輪っかにしたり、カールしたりいろいろ楽しめます。

相模原市青少年指導員連絡協議会 広報部

簡単に作れる工作をご紹介します 問合せ：045-210-3848 (県青少年課)



横浜

# 鶴見区内公立中学校生徒交流の集い

鶴見区青少年指導員協議会

鶴見区青少年指導員協議会は、毎年1月に、9つの公立中学校生徒と青少年指導員が一堂に会して行う「区内公立中学校生徒交流の集い」を開催しています。

平成30年度までは、内容としてカレー作り・グラウンドゴルフ大会・意見交換会を実施し、会場は9つの中学校を毎年持ち回りで実施していました。

しかし、各学校の先生方から「カレー作りはアレルギー問題やノロウイルスの問題がある」、「会場となる学校の教職員の負担が大きい」、「冬期に屋外でグラウンドゴルフを生徒に行わせるのは問題だ」等の様々なご意見をいただきました。

そこで協議会内で議論を重ね、「カレー作りを廃止して食べ物の提供をやめる」、「スポーツセンターで実施することで会場校の負担をなくす」、「グラウンドゴルフを屋内実施可能なポッチャに変える」、と改めることとしました。

新たな内容で初開催した令和2年1月18日は雪がちらつくとても寒い日でしたが、参加した生徒たちや引率の先生方からも大好評で盛況に終わりました。

この行事は中学生にとって地域と交わる貴重な機会であり、青少年指導員にとっても青少年健全育成のためだけでなく、地域のことを子どもたちに伝えていく大事な場所であるため、これからもこの事業を大切に、時代が変わっても子どもたちにとっても私たち青少年指導員にとっても有意義な行事であり続けられるように取り組んでいきます。



みんな大集合！

地域活

横須賀  
三浦

# 子どもたちの笑顔と指導員の活動

逗子市青少年指導員連絡協議会 会長 小林 壽志

逗子市青少年指導員連絡協議会は、現在、市内の関係団体から推薦を受けた合計19名で構成されており、一年間を通して、市内での青少年健全育成の啓発活動、海岸



砂の芸術

パトロールへの参加、市民まつりや体験学習施設スマイルまつりへの協力、ディベート講座の企画などの活動を進めています。

当協議会の活動

で特に大きな取り組みとして、毎年5月5日のこどもの日に逗子海岸で実施する「こどもの日のつどい」があります。「こどもの日のつどい」では、「砂の芸術」と題して、家族や友人などのグループで、逗子海岸の砂や貝、漂流物を使って、砂浜に芸術作品を制作します。今年41回目を迎えるこの取り組みは、毎年500人程度の参加があり、作品制作を通して、多くの子どもたちのイキイキとした姿が見られることは、私たち指導員の喜びです。これからも市内での主体的な活動を通して、子どもたちの笑顔に触れながら、逗子を盛り上げていきたいと思っています。

作品集を無料配布!!



## 青少年センターからのお知らせ

### つくってあそぼう！子どもと作る手作りおもちゃ

身近な素材で作る作品集を、青少年活動に関わっている団体・個人に無料で配布します。イラスト・写真入りでわかりやすく説明しています。3月下旬配布開始予定です。

対象 青少年活動に関わっている団体または個人

料金 無料

申込み 電話またはFAXにて

神奈川県立青少年センター指導者育成課まで

問合せ 指導者育成課 電話 045-263-4466 FAX 045-242-8190



相模原

# 相模原市民桜まつりチビッ子広場



相模原市青少年指導員連絡協議会 副会長 齊藤 一城



バンブーダンス体験

相模原市青少年指導員連絡協議会は市内27地区から約250人が集まり、元気に・明るく・楽しく・安全に！をモットーに日々活動しています。

相模原市民桜まつりは1974年から毎年桜の時期に開催され、市民の手づくりによる催し物や市民パレードなど盛りだくさんの内容で賑わっています。

## 動 報 告



湘南

# 「楽しくスキルアップ!」&「子どもの心を考えて」

秦野市青少年指導員連絡協議会 会長 山口 晴美

秦野市も含め、5市3町からなる湘南地域では、今年度もスキルアップのための研修と講演会を行いました。

6月の研修会では、ゲーム（集団での遊び）などしながら、円滑なコミュニケーションを取るためのスキルを学びました。中でも「鬼（講師）を席に座らせないゲーム」と「仲間探し、“私と同じで〇〇が好きな



言葉のやりとりも、風船を渡すようにお互いに相手を思いやっ

人！立ち上がってみんなとハイタッチ！」は盛り上がりました。みんなで鬼を席に座らせないように必死！ハイタッチイエ〜イ、も、仲間が多いと嬉しいですね。そんな時間を共有しました。

10月には、今の子どもの、抱えている問題を言い出せない複雑な現状と、地域のつながり・家庭環境の変化、周りにいる大人ができることは何かを主題とした講演会に参加しました。話をすること＝相手を思いやること・理解すること・寄り添うこと＝相手との橋をかける（信頼する）こと。私たち指導員は、いつもその事を考え、今後も活動をしていけたらと思います。

### 条例改正のお知らせ（かなかなかぞく）

#### 自画撮り被害に注意！～青少年保護育成条例の改正について～

県は、いわゆる「自画撮り被害」を未然に防止するため、青少年に対して児童ポルノ等の写真や画像の提供を求める行為を禁止しました。どんなに画像等を送るよう頼まれても絶対送らないこと、フィルタリング機能を活用するなど日ごろから親子でスマートフォン利用のルール作りを進めることを呼びかけてくださるようご協力お願いします。

詳しくは

[神奈川県 自画撮り被害](#) 

かなかなかぞくの動画も公開しています！



### 働きたい。あなたの一歩を応援します。

#### 地域若者サポートステーションのご案内

地域若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱えている若者を対象に、就労に向けた支援を行っています。

県内7カ所ある地域若者サポートステーションの連絡先はこちら。





(令和2年4月～令和2年9月の予定)

◆横浜市

○紙トンボ、ぶんぶんゴマ体験コーナー(三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル内)(鶴見区)
5月16日(土) 午前9時30分～午後3時30分(荒天時は中止し、順延なし)
県立三ツ池公園

○ホテル観察の夕べ(神奈川区)
6月5日(金) 午後7時15分～午後8時30分(荒天時6月12日(金)に順延)
(対象) 神奈川区内在住または在学の小・中学生と保護者
神奈川県立四季の森公園

○はぁとdeボランティア～中学生のための夏休みボランティア体験～(都筑区)
7月下旬～8月下旬
(募集期間) 6月上旬～7月上旬
都筑区内各所(地域の夏祭り、公園愛護会活動、保育所、高齢者施設等を予定)
オリエンテーション、ボランティア体験、振り返りの3つのステップで実施します。

○第27回チャレンジフェスティバル(戸塚区)
5月24日(日) 午前9時00分～午後1時00分(受付は午前10時30分まで)
戸塚小学校校庭・体育館※雨天時は体育館のみ実施
自己ベストを目指して、幅跳びやスリッパ飛ばしなど20種目に挑戦する小学生向けイベントです。(参加費無料)

◆相模原市

○第46回相模原市民桜まつりチビッ子広場
4月4日(土) 午後1時～4月5日(日) 午後5時
市役所第1駐車場及び周辺
相模原のふるさとづくりをテーマに市役所さくら通りを主会場に市民の手づくりによる催し物や市民パレード、絵画コンテストなど盛りだくさんの内容で皆さんをお迎えします。

◆横須賀市

○じゃがいも掘り・蛍を見に行こう・ツツジの植樹(6月)
○七夕飾り・そうめん流し・サマーコンサート(7・8月)
○地域ふれあいフェスティバル・地域クリーン活動・砂の芸術コンクール(9月)
\*詳細は横須賀市HPに公開されている「よこすか育成通信」第27号(令和元年9月発行)をご参照下さい。

◆厚木市

○第23回少年少女フェスティバル
5月17日(日) 午前11時から午後4時まで
アミューあつぎ8階屋内広場Sola他
各地区の青少年指導員がブースを出展し、子どもたちが遊び道具作りを体験します。

◆大和市

○第43回大和市民まつり
5月9日(土)、10日(日) 引地台公園
※「こどもゲームコーナー」出店のために青少年指導員が中高生ボランティアを募集中。
○第34回親子ナイトウォークラリー
7月11日(土)開催
4km、6km、8kmの3コースあり

◆綾瀬市

○第28回綾瀬市ふれあい探検ウォークラリー大会
7月中旬もしくは8月上旬 午後5時スタート(予定)
綾瀬市役所南側広場発着4コース

※詳細については、各市にご確認下さい。

子どもの心へ届けたい本～優良図書のご案内～

読書は、単に活字に触れるというだけでなく、読解力を養い、豊かな感性や想像力を育む大切なものです。
県児童福祉審議会では、児童の健全育成に資すると期待できる図書等の出版物を優良図書として推薦しています。青少年に勧める際の参考としてください。
令和元年度優良図書として選ばれた作品は、以下のとおりです。

Table with 3 columns: 幼児以上対象, 小学校低学年以上対象, 小学校高学年以上対象. Lists book titles and authors such as 'ピノピノとおひるね', 'ガラスの梨', 'キャプテンマークと銭湯と'.

優良図書の一覧は、県内の幼稚園や小中学校、図書館等に配布するほか、県のホームページでご覧いただけます。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12556.html



「つばさ」第26期 編集委員

藁科 文男 (横浜地域) 齊藤 一城 (相模原地域)
岸 真介 (川崎地域) 萩原 正恵 (県央地域)
織田 俊美 (横須賀三浦地域・担当理事)

編集後記

第26期 つばさ編集委員 織田 俊美 (担当理事)

2年をかけて良い紙面を目指す！を目標に取り組んでまいりましたが、第62号はいかがだったでしょうか。原稿を執筆していただいた多くの皆様のご協力をいただき、他地域の活動を知ることが出来る分かりやすい紙面を心掛けて編集してまいりました。会議の後の懇親も楽しいひと時でした。委員の皆様のご協力にも重ねて感謝申し上げます。

※「つばさ」は県のホームページからも見ることができます。

